

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項に基づく

中津市教育委員会施策の  
点検・評価に関する報告書  
(令和 2 年度対象)

令和 3 年 8 月 2 4 日

中津市教育委員会



## 目 次

|     |                 |    |
|-----|-----------------|----|
| I   | はじめに            | 1  |
| 1.  | 目的              | 1  |
| 2.  | 点検・評価の実施方法等     | 1  |
| (1) | 法定事項            | 1  |
| (2) | 実施方法            | 1  |
| 3.  | 自己評価及び総合評価の判定基準 | 2  |
| (1) | 自己評価について        | 2  |
| (2) | 総合評価について        | 2  |
| II  | 点検・評価           | 3  |
| 1.  | 施策名と評価一覧        | 3  |
| 2.  | 評価の分析           | 5  |
| 3.  | 施策毎の目標、達成状況等    | 6  |
| (1) | 表の見方            | 6  |
| (2) | 各施策の内容          | 7  |
| III | 学識経験を有する者の知見    | 37 |
| IV  | おわりに            | 42 |

## I はじめに

### 1. 目的

平成 19 年 6 月に一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

そこで、中津市教育委員会では、教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかについて、教育委員会自らが事後にチェックし、今後の効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすため、この点検・評価を実施し、報告書にとりまとめました。

### 2. 点検・評価の実施方法等

#### (1) 法定事項

点検・評価の実施については、次の 4 点が法定事項になっています。

- ①毎年実施すること。
- ②教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)の管理・執行状況について点検・評価を行うこと。
- ③点検・評価の実施に当たっては、学識経験を有する者の知見の活用を図ること。
- ④点検・評価結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表を行うこと。

#### (2) 実施方法

##### ①対象期間

令和 2 年度の管理・執行状況

##### ②点検・評価の項目について

中津市教育委員会では、市教育行政の長期的、総合的な指針として、「なかつ安心・元気・未来プラン 2017（第五次中津市総合計画）」（平成 29 年 3 月策定）及び「第 2 期中津市教育振興基本計画」（平成 31 年 3 月策定）に基づき各種施策を推進しており、令和元年度は重点的な 25 項目について点検・評価を行いました。

##### ③学識経験を有する者の知見の活用について

教育に関し学識経験を有する者の知見活用にあたっては、教育に関して公正な意見を述べるのが期待できる人の知見を活用しました。

##### ④報告・公表方法

点検・評価結果に関する報告書は、定例市議会（教育産業建設委員会）に提出し、その後、中津市教育委員会のホームページに公表します。

### 3. 自己評価及び総合評価の判定基準

#### (1) 自己評価について

事業主管課長が、適応性・効率性・達成度の3つの着眼点で、5段階で自己評価しました。

| 評価項目 | 着 眼 点                  |
|------|------------------------|
| 適応性  | ①市民ニーズや社会の変化に対応しているか   |
|      | ②同じ目的を達成するために他に手段はないか  |
| 効率性  | ③内容の見直しや重点化を行っているか     |
|      | ④事業の円滑な推進のための調整を行っているか |
| 達成度  | ⑤当初の目標どおりに進めることができているか |

#### 【ランク説明】

| ランク | 着 眼 点                 |
|-----|-----------------------|
| 5   | 達成 (80%以上)            |
| 4   | 着実に進捗 (相当程度達成・79~60%) |
| 3   | やや不十分 (59~40%)        |
| 2   | 不十分 (39~20%)          |
| 1   | 抜本的見直しが必要 (19~0%)     |

#### (2) 総合評価について

教育委員会及び課長級で構成された中津市教育委員会施策評価実行委員会が、目標、達成度、自己評価を総合的に判断して、5段階で総合評価をしました。

| ランク | 着 眼 点                   |
|-----|-------------------------|
| A   | 優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている  |
| B   | 優れた取り組みがいくつかあり、成果が見える   |
| C   | 一定の成果が見られるが、更なる取り組みを要する |
| D   | 成果が上がってなく、改善を必要とする      |
| E   | 抜本的見直しが必要               |

## II 点検・評価

以下に、令和2年度の具体的な施策内容、評価結果などについて報告します。

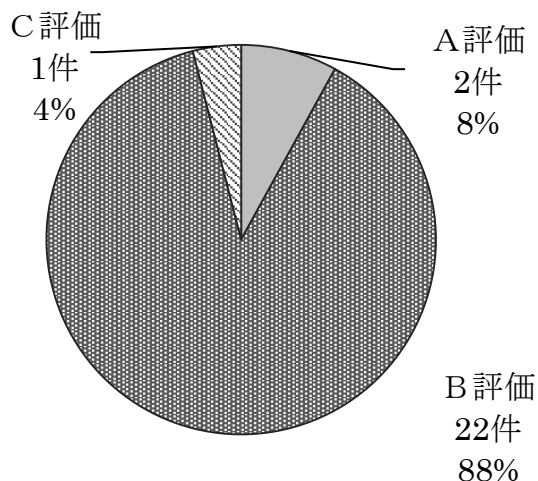
### 1. 施策名と評価一覧

| 施策別<br>基本目標                            | 基本姿勢                              | 施策名   | 自己<br>評価 | 総合<br>評価 | 所管課         |
|--|-----------------------------------|---|----------|----------|-------------|
| 学びたい教育の<br>まちづくり<br>(学校教育)             | 学校教育の充実<br>(義務教育の充実)              | 1 確かな学力の育成                                  | 3        | B        | 学校教育課       |
|  |                                   | 2 組織的ないじめ・不登校対策の推進                          | 3        | B        | 学校教育課       |
|  | 学校教育の充実<br>(小・中・高・短期<br>大学との連携促進) | 3 新しい時代に必要な総合力の育成                           | 3        | B        | 学校教育課       |
|  | 学校教育の充実<br>(幼児教育の充実)              | 4 幼稚園教育内容の充実                                | 4        | B        | 学校教育課       |
|  | 安心安全な学校施設<br>の計画的整備促進             | 5 安心安全な学校施設の計画的整備                           | 4        | A        | 教育総務課       |
|  | 学校給食の充実                           | 6 地産地消の推進                                   | 4        | B        | 体育・給食課      |
| 学びたい教育の<br>まちづくり<br>(生涯学習・産<br>業教育の推進) | 生涯学習の推進                           | 7 生涯学習推進基盤の整備及び<br>公民館、コミュニティーセン<br>ターの利用促進 | 3        | B        | 社会教育課       |
|  |                                   | 8 学習機会の拡充と学習効果の<br>活用（ふるさと学習の推進）            | 4        | B        | 社会教育課       |
|  |                                   | 9 新中津市学校の活用                                 | 5        | B        | 社会教育課       |
|  | 教育の協働                             | 10 学校、家庭、地域の協働によ<br>る子育ての推進                 | 3        | B        | 社会教育課       |
|  | 生涯学習センター<br>「まなびん館」               | 11 生涯学習センター事業の充実                            | 3        | B        | 社会教育課       |
|  | 産業教育の推進                           | 12 キャリア教育の充実                                | 3        | B        | 学校教育課       |
|  |                                   | 13 多様な体験の場の活用                               | 3        | B        | 社会教育課       |
|  | 図書館の充実                            | 14 図書館機能の充実                                 | 3        | B        | 小幡記念図<br>書館 |
|  |                                   | 15 読書活動の推進                                  | 3        | B        | 小幡記念図<br>書館 |

| 施策別<br>基本目標                      | 基本姿勢                             | 施策名                                  | 自己<br>評価      | 総合<br>評価 | 所管課    |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|---------------|----------|--------|
| 学びたい教育の<br>まちづくり<br>(文化・スポーツの推進) | スポーツの振興                          | 16 生涯スポーツの推進                         | 3             | B        | 体育・給食課 |
|                                  |                                  | 17 競技力向上及びジュニアの育成                    | 3             | B        | 体育・給食課 |
|                                  |                                  | 18 市民ニーズに応えるスポーツ施設の整備や多機能多目的な施設利用    | 4             | B        | 体育・給食課 |
|                                  |                                  | 19 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動 | 3             | C        | 体育・給食課 |
|                                  | 文化・芸術活動の推進                       | 20 文化施設の充実                           | 4             | B        | 社会教育課  |
|                                  |                                  | 21 文化芸術活動の推進                         | 4             | B        | 社会教育課  |
|                                  | 歴史と文化の伝承                         | 22 博物館を核とした活動の充実                     | 4             | A        | 社会教育課  |
|                                  |                                  | 23 文化財保護体制の確立                        | 4             | B        | 社会教育課  |
|                                  |                                  | 24 文化財の保存・活用                         | 4             | B        | 社会教育課  |
|                                  | 学びたい教育の<br>まちづくり<br>(教育委員会活動の充実) | 教育委員会活動の充実                           | 25 教育委員会の機能強化 | 4        | B      |

## 2. 評価の分析

教育委員会及び課長級で構成された中津市教育委員会施策評価実行委員会が、目標、達成度、自己評価を総合的に判断して、5段階で総合評価したところ、A評価2件、B評価22件、C評価1件となりました。



各課では教育の向上を図るために、毎年より高い意識を持って施策の目標設定を行っており、その達成に努めています。

| ランク | 着 眼 点                   |
|-----|-------------------------|
| A   | 優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている  |
| B   | 優れた取り組みがいくつかあり、成果が見える   |
| C   | 一定の成果が見られるが、更なる取り組みを要する |
| D   | 成果が上がってなく、改善を必要とする      |
| E   | 抜本的見直しが必要               |

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、活動に対する制限を余儀なくされましたが、25項目ある施策の概ねが取り組みを進め、着実に成果が見える状況であります。

特にA評価の施策である「博物館を核とした活動の充実」では、コロナ禍による臨時休館もありましたが、令和元年に開館した中津市歴史博物館を中心に、当初計画を上回る回数展示や企画展が開催できました。特に、「発掘された日本列島展」は他県会場と比べても大変多くの来館者を記録しました。また、新しい取り組みとして、旧下毛地域等の遠方の学校やコロナ禍で郊外活動が制限される中、学校へ学芸員が出向く出前授業を開始するなど、十分な成果を上げることができました。

もう1つのA評価の施策である「安心安全な学校施設の計画的整備」では、今後の学校施設の適切な維持管理を進めていくために、中津市全体の計画である「中津市公共施設管理プラン」の個別施設計画として、令和3年3月に「中津市学校施設長寿命化計画」を策定しました。また、施設整備では、計画していた改修に加え、学校の多目的スペース等のカーペットのビニルシートへの張替え、手洗い場の増設、蛇口のレバー式への改修を臨時的に行い、新型コロナウイルス感染対策を図ることができました。

一方では、「東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動」では、令和2年12月にオリンピック聖火展示事業を実施し、大会に向けての機運醸成を図るこ



とができましたが、コロナ禍で今後の状況が不透明であり、思うように事前キャンプの調整を進められなかったことから、C評価となりました。

その他の施策においては、コロナ禍においても優れた取り組みが見受けられ、更なる取り組みを要するものや改善を必要とするものなどの評価はありませんでしたが、今後においても、引き続きより高い目標の達成を目指し、施策の設定及び評価を継続して取り組んでいきたいと考えています。

### 3. 施策毎の目標、達成状況等

#### (1) 表の見方

表の項目について、大、中、小とありますが、これは、それぞれ大分類（施策別基本目標）、中分類（基本姿勢）、小分類（施策名）を指しています。

| 大 分 類 |                                | 中 分 類 |                           |
|-------|--------------------------------|-------|---------------------------|
| 1     | 学びたい教育のまちづくり<br>(学校教育)         | A     | 学校教育の充実（義務教育の充実）          |
|       |                                | B     | 学校教育の充実（小・中・高・短期大学との連携促進） |
|       |                                | C     | 学校教育の充実（幼児教育の充実）          |
|       |                                | D     | 安心安全な学校施設の計画的整備促進         |
|       |                                | E     | 学校給食の充実                   |
| 2     | 学びたい教育のまちづくり<br>(生涯学習・産業教育の推進) | F     | 生涯学習の推進                   |
|       |                                | G     | 教育の協働                     |
|       |                                | H     | 生涯学習センター「学びん館」            |
|       |                                | I     | 産業教育の推進                   |
|       |                                | J     | 図書館の充実                    |
| 3     | 学びたい教育のまちづくり<br>(文化・スポーツの推進)   | K     | スポーツの振興                   |
|       |                                | L     | 文化・芸術活動の推進                |
|       |                                | M     | 歴史と文化の伝承                  |
| 4     | 学びたい教育のまちづくり<br>(教育委員会活動の充実)   | N     | 教育委員会活動の充実                |

(2) 各施策の内容

| No | 分類 |   |          | 目標  |
|----|----|---|----------|---|
|    | 大  | 中 | 小        |   |
| 1  | 1  | A | 確かな学力の育成 | <p>「全国学力・学習状況調査」での合計正答率が全国平均以上の学校数を目指す。<br/>目標値：小学校 19 校（21 校中） 中学校 8 校（10 校中）</p> <p>中津市標準学力調査では、各教科・学年の低学力層の児童・生徒の割合を減らす。<br/>※低学力層とは、目標値に対して-5 ポイント以上の児童・生徒を指す</p> <p>○「新大分スタンダード」の徹底・充実による言語能力の更なる育成<br/>○新学習指導要領の理解と確実な実施<br/>○小・中連携による、子どもが主体的に学ぶ授業の確立<br/>○各種学力調査分析・活用による授業改善の推進</p> |

| 達成状況  | R1   |      | R2    |       | 所管課   |          |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|---|------|------|-------|-------|-------|----------|----------|--|----|----|-------|----|-------|----------|--|--|--|--|--|--|--|-----|----|----|-------|----|-------|----------|--|----|----|-------|----|-------|----------|--|----|----|-------|----|-------|----------|--|----|----|-------|----|-------|----------|--|----|----|-------|----|-------|----------|---|---|---|---|-------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価  | 総合評価  |       |          |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
| <p>○「全国学力・学習状況調査」での合計正答率が全国平均以上の学校数を小学校 19 校、中学校 8 校を目標としているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されなかった。</p> <p>○大分県学力定着状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響で、悉皆調査を実施せず、市町村判断となった。中津市では教育課程の時間確保のため一斉実施は行わず、各校ごとの状況に応じた対応とした。</p> <p>○中津市標準学力調査での小学 5 年生及び中学 2 年生の低学力児童生徒の割合の推移（異集団・同学年比較）<br/>※低学力層とは、目標値に対して-5 ポイント以上の児童・生徒を指す</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">小 5</td> <td style="width: 15%;">国語</td> <td style="width: 5%;">R1</td> <td style="width: 15%;">23.8%</td> <td style="width: 5%;">R2</td> <td style="width: 15%;">38.6%</td> <td style="width: 10%;">(+14.8%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>算数</td> <td>R1</td> <td>28.2%</td> <td>R2</td> <td>30.6%</td> <td>(+ 2.4%)</td> </tr> <tr><td colspan="7"> </td></tr> <tr> <td>中 2</td> <td>国語</td> <td>R1</td> <td>36.7%</td> <td>R2</td> <td>29.2%</td> <td>(- 7.5%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>社会</td> <td>R1</td> <td>46.6%</td> <td>R2</td> <td>34.6%</td> <td>(-12.0%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数学</td> <td>R1</td> <td>43.5%</td> <td>R2</td> <td>39.3%</td> <td>(- 4.2%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理科</td> <td>R1</td> <td>46.4%</td> <td>R2</td> <td>41.7%</td> <td>(- 4.7%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>英語</td> <td>R1</td> <td>48.0%</td> <td>R2</td> <td>43.3%</td> <td>(- 4.7%)</td> </tr> </table> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○6 月から授業を再開したため、行事の見直し、単元計画の見直し等の教育課程の再編成を行った。<br/>異集団のため直接比較はできないが、復習や補充学習等の時間を十分に確保できなかったこともあり、小学校では低学力層の児童の割合は国語を中心に増加している。<br/>中学校では授業改善の取組の成果もあり、低学力層の生徒の割合は減少している。</p> <p>○中津市標準学力調査の結果から、小学校では低学力層の児童の割合を減らすことができていなかったことから、新大分スタンダードの徹底・充実を図るとともに、中津市独自の授業改善「みんな活躍授業」を中心とした授業改善の取組みを進める。<br/>中学校では、学力向上対策「3つの提言」推進拠点校を中心とした授業改善の推進を図るとともに、小学校との継続した学びを進める。</p> <p>○学力調査結果を短期集中講座につなぐサイクルの再確立による低学力層減少の取組の充実を図る。また、研究主任会議を中心として小・中学校が連携して授業改善の取組を推進することにより、主体的に学ぶ子どもの育成を継続して目指す。</p> <p>○教育課程研究主任会議を、オンライン等も視野に入れながら、効果的に部会を実施していくことで学習指導要領の理解を深める。</p> | 小 5  | 国語   | R1    | 23.8% | R2    | 38.6%    | (+14.8%) |  | 算数 | R1 | 28.2% | R2 | 30.6% | (+ 2.4%) |  |  |  |  |  |  |  | 中 2 | 国語 | R1 | 36.7% | R2 | 29.2% | (- 7.5%) |  | 社会 | R1 | 46.6% | R2 | 34.6% | (-12.0%) |  | 数学 | R1 | 43.5% | R2 | 39.3% | (- 4.2%) |  | 理科 | R1 | 46.4% | R2 | 41.7% | (- 4.7%) |  | 英語 | R1 | 48.0% | R2 | 43.3% | (- 4.7%) | 4 | B | 3 | B | 学校教育課 |
| 小 5   | 国語   | R1   | 23.8% | R2    | 38.6% | (+14.8%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|   | 算数   | R1   | 28.2% | R2    | 30.6% | (+ 2.4%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|   |      |      |       |       |       |          |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
| 中 2   | 国語   | R1   | 36.7% | R2    | 29.2% | (- 7.5%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|   | 社会   | R1   | 46.6% | R2    | 34.6% | (-12.0%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|   | 数学   | R1   | 43.5% | R2    | 39.3% | (- 4.2%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|   | 理科   | R1   | 46.4% | R2    | 41.7% | (- 4.7%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |
|   | 英語   | R1   | 48.0% | R2    | 43.3% | (- 4.7%) |          |  |    |    |       |    |       |          |  |  |  |  |  |  |  |     |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |  |    |    |       |    |       |          |   |   |   |   |       |

| No | 分類 |   |                  | 目標   |
|----|----|---|------------------|--|
|    | 大  | 中 | 小                |  |
| 2  | 1  | A | 組織的ないじめ・不登校対策の推進 | <p>不登校（不登校を理由に年間 30 日以上欠席）の児童生徒数の減少を目指す。<br/> （目標値 1,000 人当たりの不登校数<br/> 小学校 4.4 人、 中学校 28.6 人）</p> <p>また、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応を徹底する。<br/> （目標値 いじめの解消率 小学校 87% 中学校 79%）</p> <p>○生徒指導の 3 機能を活かした教育活動の推進（「学びに向かう学校づくり」等）<br/> ○校内組織（いじめ・不登校防止対策委員会）の強化、O J T による学級経営力・児童生徒指導力の育成<br/> ○S C、S S W、地域児童生徒支援コーディネーター、関係機関、適応指導教室等との連携強化</p> |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|---|------|------|------|------|-------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○不登校(不登校を理由に年間30日以上欠席)の状況にある1,000人当たりの人数の推移</p> <p>小学校 R1 7.4人 R2 10.2人 (+2.8人)</p> <p>中学校 R1 36.1人 R2 34.2人 (-1.9人)</p> <p>○いじめの認知件数</p> <p>小学校 R1 1,226件 R2 1,027件 (-199件)</p> <p>中学校 R1 140件 R2 96件 (-44件)</p> <p>○いじめの解消率(いじめのない状態が3か月間継続した状態)</p> <p>小学校 R1 78.6% R2 83.3% (+4.7%)</p> <p>中学校 R1 82.9% R2 79.2% (-3.7%)</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○不登校の要因は複雑化、多様化してきており、コロナ不安で登校できない、させないなど生活リズムが整わなくなるなどの要因も重なり、小学校では不登校が増加している。<br/>不登校支援のための関係機関を利用する学校が増えており、学校での関係機関の支援に対する認知は進んでいる。地域児童生徒支援コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携して児童生徒の背景を共有し、必要に応じて福祉や医療機関等につなぐなど、適切な対応に努める。</p> <p>○いじめの認知件数の減少は、臨時休校による登校日数の減少だけでなく、組織的な早期対応の充実が要因として考えられる。併せて、積極的認知についての意識が低下しないように校内組織(いじめ・不登校防止対策委員会)の強化を図る。</p> <p>○いじめについては、学校の組織的な支援会議を推進し、未然防止、早期発見・対応を推進していく。</p> <p>○学校教育課内で支援チームを発足させ、情報共有を定期的に行い、小学校の不登校児童減少に向けた要因の分析と対応・支援の見直しを行う。また、適応指導教室の不登校支援の充実と学校との連携強化、ICTを活用した不登校支援推進を図る。</p> <p>○人間関係づくりプログラムや情報モラル教育を通して、いじめの未然防止を図る。</p> | 4    | B    | 3    | B    | 学校教育課 |

| No | 分類 |   |                 | 目 標  |
|----|----|---|-----------------|--|
|    | 大  | 中 | 小               |  |
| 3  | 1  | B | 新しい時代に必要な総合力の育成 | <p>意見や考えを英語で伝え合いたくなる授業づくりを目指し、学習内容の定着につながる体験的な学習や家庭学習等の連動を図る。</p> <p>○求められる英語力CEFR-A1レベル相当以上(英検3級取得者+3級以上相当の力)を有する中学3年生の割合が50%以上とする。</p> <p>○小中の学びをつなぎ、伝え合う意欲と力の向上を図る授業改善</p> <p>○ALTを活用した体験学習(英会話教室やAPU交流等)の充実</p> <p>○ふるさと学習や総合的な学習での地域探究学習の充実</p> |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|---|------|------|------|------|-------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、年間3期に分けて実施している英検塾の中止と市教委で実施する英検受験が中止となったため、求められる英語力CEFR-A1レベル相当以上（英検3級取得者+3級以上相当の力）を有する中学3年生の割合が32.7%と例年より減少した。（R1は45.8%）</p> <p>※英検塾とは、市内全中学校を対象に、英検3級取得を目指して各学校ごとに開いている講座（3期に分けて実施）</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、ジュニア・グローバル・リーダー研修、APU交流、中学生英会話教室については中止となった。小学生対象のわくわく英語ひろばは感染症対策、時期変更、人数制限を行い、10名の参加者で実施した。</p> <p>○感染症の影響を受け、グローバル人材育成に関する活動が中止となる中、ALTによる英語ニュースや英会話動画、英語学習動画に切り替えて、代替となる外国語学習機会を提供した。<br/>（外国語関係動画総視聴回数・・・4,094回<br/>英語ニュース毎月発行 英会話動画8本作成）</p> <p>また、小学校教職員対象の「ティーチャーズオンライン英会話教室を開催し、指導者のスキルの向上を図った。オンラインにしたことで、昨年度の集合型英会話より参加しやすく充実していたと高評価を得た。</p> <p>○ふるさと学習の一環で取り組んでいる小学生対象の「まちなみ歴史探検」については感染症の影響を受け、施設の利用券配付に変えて実施した。中学校では、総合的な学習の時間にふるさと学習に積極的に取り組み、自分たちの住む街をよりよくしようとする意識の高まりが感じられた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○求められる英語力CEFR-A1レベル相当以上（英検3級取得者+3級以上相当の力）を有する中学3年生の割合50%を達成するために、中学生英会話塾及び英検塾を継続するとともに、中学生英検塾を継続・推進するとともに、全中学校で実施するスピーキングテストを通して、4技能の向上に向けた中学校の英語の授業改善に取り組んでいく。</p> <p>※スピーキングテストとは、中学生を対象に話す力の向上を目指して、ALTを相手に自分の考えを英語で話すテストのこと。</p> <p>※4技能とは、英語を聞く・読む・話す・書く技能のこと。</p> <p>○ジュニア・グローバル・リーダー研修については、コロナウイルス感染症の影響で昨年度同様募集停止している。今後JGL研修の在り方については検討が必要である。その他のグローバル人材育成に関する取組についても、コロナ禍で実施可能なものに形態を変える必要がある。</p> <p>○ふるさと学習の主な取り組みである「まちなみ歴史探検」について感染症対策を講じて秋に実施予定としている。</p> | 4    | B    | 3    | B    | 学校教育課 |

| No | 分類 |   |                 | 目 標   |
|----|----|---|-----------------|---|
|    | 大  | 中 | 小               |   |
| 4  | 1  | C | 幼稚園教育内容の充実      | <p>「中津市幼児教育振興プログラム」についての研修・実践交流を推進する。<br/>         幼保小連携協議会の一層の充実、円滑な接続に向けた取り組みの充実を図る。</p> <p>○保幼小の連携と接続期カリキュラムの充実<br/>         ○官民一体となった「中津市乳幼児教育振興プログラムあそびのすすめ」の実践・研修の充実</p>  |
| 5  | 1  | D | 安心安全な学校施設の計画的整備 | <p>老朽化対策及び教育環境の改善に努めるため、学校施設の長寿命化改修、大規模改修、トイレ洋式化改修等行う。<br/>         また、施設毎の中長期的な維持管理・整備計画となる長寿命化計画策定に取り組む。</p> <p>○学校施設の長寿命化改修、大規模改修、トイレ洋式化改修<br/>         （国庫補助金の確保及び対策、空調設備設置率 100%設置、トイレ洋式化改修率 80%目標）<br/>         ○長寿命化計画策定の事前準備作業（抽出データ作業、整理等）</p> |



| 達成状況   | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|--|------|------|------|------|-------|
|  | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、「中津市乳幼児教育振興プログラム（あそびのすすめ）」についての研修や、「第1回中津市保幼小連携協議会」も中止となった。「第2回中津市保幼小連携協議会」は、令和3年2月には協議会を2回に分け、短時間で行うことができた。その中で、小学校と幼稚園・保育所・こども園の職員で園児や小学校1年生の様子の情報交換や、授業実践交流を各小学校区のグループ協議の中で行い、円滑な接続に向けて取組ができた。</p> <p>○その成果として、小1プロブレムの発生状況は2.4%で、目標値の5%以下を継続して達成できている。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○保幼小連携協議会等において、交流会の実践発表や保育の事例報告などを行い、就学前後の保育・教育の更なる相互理解を図る。</p> <p>○幼児教育アドバイザーが、市内全幼稚園・保育所を訪問し、各園へ支援・助言を行う。</p>   | 4    | B    | 4    | B    | 学校教育課 |
| <p>○学校施設の長寿命化改修、大規模改修、トイレ洋式化改修等については、常に国庫の動向に注視し、一部前倒しするなどして国庫補助金の確保に努めた。そのことにより、概ね計画通りの施設改修に努めることが出来た。（トイレ洋式化改修率 81%）また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で夏季休業が短縮となったため、夏季休業中に行う一部の大規模改修工事が出来ず、次年度に繰り越しとなったが、できる限りの改修は行った。</p> <p>○必要なデータ収集や整備費のシミュレーション等を進め、適切な維持管理を進めていくために、「中津市公共施設管理プラン」の学校施設における個別施設計画として、令和3年3月に「中津市学校施設長寿命化計画」を策定した。</p> <p>○計画していた改修に加え、新型コロナウイルス感染対策のため、学校の多目的スペース等のカーペットのビニルシートへの張替え、手洗い場の増設、蛇口のレバー式への改修を行った。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○学校施設整備については、「中津市学校施設長寿命化計画」を策定したことにより、国庫補助金を最大限活用し予算を確保することに努め、学校施設の整備・改善を引き続き行う。</p> <p>○「中津市学校施設長寿命化計画」の計画的な執行に努め、必要な場合は見直しを行う。</p> | 4    | B    | 4    | A    | 教育総務課 |

| No | 分類 |   |                                   | 目 標  |
|----|----|---|-----------------------------------|--|
|    | 大  | 中 | 小                                 |  |
| 6  | 1  | E | 地産地消の推進                           | <p>J Aや漁協、市の関係各課等と連携を密にして地場産野菜等の品目と使用量の拡大を図り、新たな生産者組織や後継者の育成等に関係機関と協議する。</p> <p>○学校給食地産地消推進会議を通じて、農政水産担当部署、J A、漁協、生産者等と地場産食材の利用拡大に取り組み、生産者の育成等に関する協議の場とする。</p> <p>○地場産食材を活用した新献立を開発する。</p> <p>○地産地消献立を通じて、子どもたちに学習意欲や郷土への関心を感じさせる工夫に努める。</p> <p>○地産地消（市内産野菜）使用割合の目標値30%に向けて、J A契約品（じゃがいも・玉ねぎ・人参）以外の野菜についても規格等の調整をしながら納品品目を広げるように努める。</p> |
| 7  | 2  | F | 生涯学習推進基盤の整備及び公民館、コミュニティーセンターの利用促進 | <p>公民館、コミュニティーセンターの利用者の確保や社会教育施設の整備、自主サークル活動の育成に取り組む。</p> <p>○社会教育関係者（社会教育委員、公民館長、社会教育指導員、関係職員等）の研修、実践による資質の向上による魅力ある学習内容の提供。</p> <p>○和田コミュニティーセンターの開館</p> <p>○三光公民館整備事業（増築工事）及び西谷地区公民館整備事業（新築工事）の実施</p> <p>○その他老朽化した公民館の設備等の改修事業を実施</p>   |

| 達成状況   | R1   |      | R2   |      | 所管課    |
|--|------|------|------|------|--------|
|  | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |        |
| <p>○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校給食地産地消推進会議の開催を断念したが、J A、漁協と直接交渉することにより、長期単価契約を結んでいる野菜（玉ねぎ、じゃがいも、人参）以外の季節の青果物（きゅうり、ピーマン、いちご、梨）や、はものすり身やべたの一夜干し等の中津市産の食材を給食に取り入れることが出来た。</p> <p>○令和2年度地産地消使用割合は14%となったが、地産地消の新献立の開発により、新たに中津市産野菜のスィスチャードを給食食材として取り入れることが出来た。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○よりたくさんの地元産食材を効率よく使用できるよう、規格の調整等、各関係者と各調理場で個別に協議を行っていくことが必要である。また、他市の地産地消の取り組みについて調査を行うとともに、各関係者と連携し、より多く子供たちに安全で安心な地元食材を提供できるように、工夫していきたい。</p>  | 4    | B    | 4    | B    | 体育・給食課 |
| <p>○公民館、コミュニティーセンター（山国公民館除く）の利用者数は、89,187人（前年度183,617人）で、昨年より大幅に減少している。新型コロナ感染防止対策により4月から5月に施設を閉館としたことと、再開後もコロナ禍が続き、個人、サークルの外出自粛が、特に高齢者に多かったためと考えられる。また、3密を避けることが難しい活動や会議なども自粛をお願いしたことにより利用者が減少した。</p> <p>○市主催の公民館講座等は7月から再開したが、どこの講座学習参加者も例年より少ない状況で、自主サークル活動においても一年間の活動を中止するところもあった。</p> <p>○毎年それぞれ公民館、コミュニティーセンターで盛大に開催される祭りについては、3密を避けることが難しいという判断で、すべて中止となった。</p> <p>○和田コミュニティーセンターを予定通り開館できた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○引き続き施設の感染防止対策を徹底しながら、ウイズコロナ期の公民館活動のあり方を模索し、現在自粛をして家に引きこもりがちになっている高齢者などが再び戻ってくるような公民館運営を工夫していく。</p> | 3    | B    | 3    | B    | 社会教育課  |

| No | 分類 |   |  | 目 標   |
|----|----|---|--|---|
|    | 大  | 中 | 小  |   |
| 8  | 2  | F | 学習機会の<br>拡充と学習<br>効果の活用<br>(ふるさと<br>学習の推進) | <p>新規学習者の獲得、学びを通じた社会に貢献できる人材の育成、「ふるさと学習」の推進について取り組む。</p> <p>○市民ニーズにあった魅力的な学習や実際の生活や地域づくりへとつながる学習、それらの学習のための講師等、新規人材の開拓とサークル等自発的学習への支援。</p> <p>○子どもたちが主体的に参加でき、体験活動を重視した「ふるさと学習」の実施。<br/>(福沢諭吉記念事業、子ども中津検定・福澤諭吉検定、ワンパク！たんけん中津、青少年地域活動事業、中津ジュニア歴史ガイド育成、公民館独自講座 等)</p> |
| 9  | 2  | F | 新中津市学<br>校の活用                              | <p>市民講座の開催、慶應義塾大学との共同研究の推進を行う。また、歴史資料の保存活用・公開を図る。</p> <p>○慶應義塾より講師を招聘し、市民講座(全4回)、高校生向け講座(全2回)を開催する。また、中津市民を講師とした市民講座(全2回)の開催を進める。</p> <p>○慶應義塾大学との共同研究として「小幡篤次郎関係資料整理」「小幡著作整理作業」「渡辺家資料整理」を行う。</p> <p>○市民の利用促進に向け、各種媒体を活用した広報活動、学校、各種団体への周知等を行なう。</p>                |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|---|------|------|------|------|-------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○公民館、コミュニティーセンターでの主催講座は、コロナの感染防止対策のため4月から6月中は中止となった。再開後も講座生の自粛により、参加人数は減少した。</p> <p>○福澤諭吉記念事業は全国高等学校弁論大会29人出場、近郊小中学校書写展1,691点応募、諭吉かるた大会32チーム、108人参加した。</p> <p>○子ども中津検定は45人、ジュニア諭吉検定は16人の受験があった。</p> <p>○「ワンパク！たんけん中津」日帰りの開催となり、22人の参加があった。</p> <p>○青少年地域活動事業（三保小学校人形劇クラブ）には8人の参加があり、練習成果を披露する「万年願」は中止となった。</p> <p>○中津ジュニア歴史ガイドは4人の小学生が3月の城下町ウォークラリーで実際にガイドを行った。</p> <p>○公民館の青少年事業は、中止になったところも多かったが、北部公民館では感染防止対策をとりながら小学校3年生と女性学級受講者によるウォークラリーを実施できた。</p> <p>○「ふるさと学習」については、コロナの状況に応じて、日程や内容を調整しながら、リモートを導入するなどの感染対策を行い、開催することができた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○自粛により、学習活動に参加しない高齢者がまだまだ多いところが課題であるが、この1年で感染防止対策を徹底しながらも、創意工夫により効果的な活動が展開できることが見えてきた。ウイズコロナ、アフターコロナ下における生涯学習の推進という新たな課題に取り組みながら、学習機会の充実と学習効果の活用を図っていきたい。</p> | 4    | B    | 4    | B    | 社会教育課 |
| <p>○慶應義塾より講師を招聘し、市民講座（全4回）を実施した。高校生向け講座については新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。</p> <p>○慶應義塾大学との共同研究として「小幡篤次郎関係資料整理」「小幡著作整理作業」「渡辺家資料整理」を行い、中津の偉人に関する貴重な資料の発見につながった。また、成果を企画展「福澤諭吉の書」において、展示し市民へ還元することができた。</p> <p>○テレビ、雑誌、新聞など様々なメディアの取材対応、学校での出前授業など様々な外部対応を行うことで新中津市学校のさらなる周知に努めた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○慶應義塾より講師を招聘し市民講座（全3回）、高校生向け講座（全2回）を開催する。そのほか県内外で活躍した経験を持つ社会人による小中高生向け講座（全6回）を予定。</p> <p>○偉人顕彰事業である小幡篤次郎・渡辺家の共同研究を引き続き進め研究成果を展示や講座等で市民へ還元する。</p> <p>○令和3年度に締結する「慶應義塾と中津市との連携に関する協定書」に基づき、人材育成・共同研究・学習交流・市民参加を一層進めるため慶應義塾との連携を深めていく。</p>  | 5    | A    | 5    | B    | 社会教育課 |

| No | 分類 |   |                      | 目 標   |
|----|----|---|----------------------|---|
|    | 大  | 中 | 小                    |   |
| 10 | 2  | G | 学校、家庭、地域の協働による子育ての推進 | <p>学校、家庭、地域がそれぞれの教育力を高め、協働する活動を通して、地域づくりや学校づくり、家庭づくりに貢献できる人材の育成を図る。また、学校支援活動、放課後や週末の体験活動、特に学習支援活動の充実を図る。</p> <p>○学校教育外での学習支援活動の場の拡充を図る。<br/> ○中津市PTA連合会と協働し、家庭教育の充実を図る<br/> ○三郷小学校、山国中学校、山口小学校における学校運営協議会の設置に伴い、コミュニティ・スクールを推進する中で、従来の校区ネットワーク会議との効果的な連携の方策を模索する。</p> |

| 達成状況   | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|--|------|------|------|------|-------|
|  | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○学びのススメ土曜塾では、実施校区を全中学校区に広げたが、2校では参加者はなく、8校で実施した。(土曜塾実績…8校、講師13人、生徒79人、各187日)</p> <p>○4月、5月は、学校は休業、再開した後も外部の人を入れることをできるだけ控えるという学校の感染防止対策により、1学期はほとんど学校支援活動ができなかった。2学期以降、学校支援活動は始まったが、学校との協議により中止した活動も多くあった。(学校支援活動年間実績…年間支援回数1,305回、支援者数9,470人(R1 1,747回、17,684人))</p> <p>○放課後子ども教室は、放課後や土曜日に地域住民と子どもが交流する活動のため、事前のコーディネーターとの感染防止対策の協議、予防グッズの準備などを行い、2学期から開始した。(放課後子ども教室年間実績…24教室、571回、大人実数211人、子ども実数693人(R1 29教室、834回、238人、子ども924人))</p> <p>○活動回数は減少しているが、感染防止対策が可能な活動はコーディネーターや指導者の管理もと、安全に実施できた。</p> <p>○中津市PTA連合会と協働した「ほめまち」事業では、親が本音で話し合い、問題解決を目指す熟議の場をつくることのできた。その成果として『家庭教育ノススメ』が完成し、充実した取り組みになったと思う。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○学校支援活動は、感染防止対策について学校と情報交換しながら、安全面に配慮して実施していく。放課後子ども教室はコーディネーターに指導、助言をしながら、同じく安全面に配慮して実施していく。</p> <p>○コミュニティ・スクールとの関係については、運営する上で、学校と地域をつなぐコーディネーターの役割が重要となるので、学校運営協議会の委員に協育コーディネーター(館長)を配置し、学校支援活動を行うための校区ネットワーク会議と効果的な連携を図り、コミュニティ・スクールを活性化させていく。</p> <p>○「ほめまち」事業で作成した『家庭教育ノススメ』の広報活動により、広く周知を図る。また、家庭教育の課題を把握するためにアンケートを実施し、具体的な活動につなげていく。</p> | 3    | C    | 3    | B    | 社会教育課 |

| No | 分類 |   |               | 目 標   |
|----|----|---|---------------|---|
|    | 大  | 中 | 小             |   |
| 11 | 2  | H | 生涯学習センター事業の充実 | <p>通年・短期講座受講者数の増加、中津市生涯学習大学の充実と受講者の増加、利用サークルの増加を図る。</p> <p>○ニーズの把握による開設講座の見直しと学習内容の充実。<br/>○新規講師の開拓。<br/>○学習しやすい施設、設備の充実と日常の環境整備。</p> |
| 12 | 2  | I | キャリア教育の充実     | <p>職場訪問・職場体験の充実を図る。また、「中学生のハローワーク」の活用の推進を図る。</p> <p>○関係団体との積極的な連携<br/>○短期大学等との積極的な連携</p>  |
| 13 | 2  | I | 多様な体験の場の活用    | <p>子どもたちが、正しい職業観を身につけ、自分の将来を考える時に選択の幅が広がるような多様な体験の場を提供する。</p> <p>○「職人フェスティバル」の実施。<br/>○少年少女発明クラブの充実。</p>                              |



| 達成状況   | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|--|------|------|------|------|-------|
|  | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○生涯学習センター利用者は、13,034人（前年度26,008人）と例年より半減している。新型コロナ感染防止対策により4月から5月に施設を閉館としたことと、再開後も個人、サークルの自粛が、多かったためと考えられる。</p> <p>○生涯学習センター「まなびん館」で開催している生涯学習大学は、受講者実人数は547人（前年度623人）で、コロナによって申し込みを控える人が増えたため、昨年度より約80人減少している。開講式、閉講式及び大学祭も中止となった。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○生涯学習センターの利用者の中には、自粛により足が遠のいている傾向がある。今後、ウイズコロナ時の事業のあり方を模索し、利用者が安全、安心して学習ができ、学習意欲の低下をまねかないように、学習環境の整備と魅力ある学習を提供していく。</p>      | 5    | A    | 3    | B    | 社会教育課 |
| <p>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、職場訪問・職場体験が中止となり、中学生の体験学習が実施できなかったため、「中学生のハローワーク」等の資料を活用して各校で職業調べなどの学習を実施した。</p> <p>○小学校は、工場見学が中止になったが、リモート工場見学や工場見学のDVDを活用しての学習に取り組んだ。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○キャリア教育を教育課程の中に明確に位置付け、特別活動を要として総合的な学習の時間などで探究活動を通じて、計画的、系統的に実施する。</p> <p>○職場訪問、職場体験、職業人講話などでは、受け入れ事業所確保のために関係団体（商工会議所など）と調整し、地元企業とも協力しながら、勤労観や職業観の育成を図っていく。さらに、郷土の産業を知る多様な機会を情報機器等も活用して推進していく。</p> | 4    | B    | 3    | B    | 学校教育課 |
| <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために、職人フェスティバルは中止となった。<br/>（前年度87ヶ所の職人ブース、1,000人以上の子ども参加）</p> <p>○少年少女発明クラブは、新規募集はしないで、昨年度からの継続希望者から10名で11回実施した。活動目標としていた大分県の発明工夫展も中止となり、発明のための活動ができなかった。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○職人フェスティバルについては、コロナの感染拡大状況を注視しながら開催日を設定する。また、これまでの7月の暑さが厳しい時期の開催は、マスク着用による熱中症予防を考慮して、秋の開催も視野に入れる。</p> <p>○発明クラブは、活動時の3密をできるだけ避けるため、会員を新6年生限定で最小限に募集する方向で、6月から月1回開催していく方向である。</p>     | 4    | B    | 3    | B    | 社会教育課 |

| No | 分類 |   |          | 目 標   |
|----|----|---|----------|---|
|    | 大  | 中 | 小        |   |
| 14 | 2  | J | 図書館機能の充実 | <p>市民ニーズに沿った図書館運営と利用率の向上、新中津市学校、村上記念童心館、木村記念美術館、歴史博物館等の近隣文化施設と一体化した連携を行い図書館利用の促進と利用者へのサービスの向上を図る。また、新規利用者の獲得のための手段や情報発信の方法を検討し、実施を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館利用者の増加を目指すため、図書館だより等の広報活動を再考し、現在活動を行っていない場所で情報発信を行うことで、今まで図書館を利用していない市民に図書館の利便性を周知し利用者増を図る。</li> <li>○社会教育課や子育て支援課などと協力、連携し近隣文化施設との導線づくりを図る。</li> <li>○夏休み期間中、開館日も学生等に閲覧室、視聴覚室を学習スペースとして開放する。</li> <li>○各支所の分館ごとに地域特性を活かし、利用実態を分析し、利用者増に結びつける。</li> <li>○赤ちゃん読み聞かせ事業の充実、学校・図書館・ボランティア等と連携し、調べ学習や読み聞かせ資料の充実を図る。</li> <li>○移動図書館のサービスポイント見直しや、施設等の団体貸出の要望調査を行う。</li> </ul> |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課     |
|---|------|------|------|------|---------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |         |
| <p>○図書館司書と読み聞かせグループによるおはなし会やDVD上映会を定期的を開催することで身近な施設として図書館を感じてもらい、利用向上を図った。また、DVD上映会は人気のあるタイトルを上映するなどニーズを考慮したことにより、来館目的のひとつとなっている。</p> <p>○研修室等を有効に活用し、規模は小さいがコロナ対策を講じての手作り感のある各種イベントを開催したところ、新規参加者も多く見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生向け夏の工作教室（参加人数…小幡9人、本耶馬溪8人、耶馬溪3人）</li> <li>・リサイクル図書無料配布会（のべ参加人数…小幡1,570人）</li> <li>・図書館コンサート（参加人数…90人）</li> </ul> <p>○各分館については、地域特性を踏まえた運営を心がけ、読書週間などでのイベントやおはなし会の拡充、耶馬溪図書館の飲食可能スペースの提供、山国図書館独自のコミックス新刊本の増加など、それぞれの地域特性を活かした地域利用者への図書館利用増を図った。</p> <p>○コロナの影響で高齢者施設における団体貸出は慎重になってしまっているが、一部では定期的な入替もあり、利用者に喜ばれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出実績…高齢者施設（21施設）、障がい者施設（9施設）、児童クラブ（8団体）など</li> </ul> <p>○常に利用者のニーズをリクエスト等で把握し、分館や他図書館との相互貸借のシステムを活用することで幅広く答えることができた。</p> <p>《参考》<br/>           図書館利用者数 R1 延べ119,547人 → R2 延べ80,384人<br/>           貸出冊数 R1 延べ518,757冊 → R2 延べ390,997冊<br/>           ※新型コロナ感染防止のため4、5月休館、図書館システム更新のため9月23～30日休館</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○安心して利用しやすい図書館サービスの向上のため、新規利用者の獲得とニーズに応じた図書館運営を行う。</p> <p>○近隣文化施設と連携し、文化ゾーンとしての確立を図る。</p> | 4    | A    | 3    | B    | 小幡記念図書館 |

| No | 分類 |   |           | 目 標  |
|----|----|---|-----------|--|
|    | 大  | 中 | 小         |  |
| 15 | 2  | J | 読書活動の推進   | <p>学校図書館やボランティアグループなどとの連携による読書活動の推進、新中津市学校、村上記念童心館等の近隣文化施設と連携し読書の促進を図る。また、読み聞かせ事業や読書週間行事の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携し、第2次中津市子ども読書活動推進実施計画を遂行していく。</li> <li>○学校司書や読み聞かせボランティアと連携を蜜にし、研修や情報交換を行うことで子どもの読書推進を図る。</li> <li>○読書週間のイベントや分館ごとに地域特性を活かした行事を行い読書活動の推進を図る。</li> <li>○HP や図書館だより、市報などで、常に読書推進に関する情報発信を行う。</li> <li>○おはなし会やあかちゃんタイム、赤ちゃんと絵本事業などで乳幼児から絵本に触れてもらうことで読書推進に繋げる。</li> </ul> |
| 16 | 3  | K | 生涯スポーツの推進 | <p>大人から子供まで加入することができ、色々なスポーツを選べる総合型地域スポーツクラブの創設に向けて取り組む。また、様々なスポーツイベントを開催し、スポーツに触れあえる機会を増やし、定住圏域住民のスポーツ振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5月の最終水曜日を「健康づくりの日」として施設の開放を行い、市民の健康づくりをサポートする。</li> <li>○市内の体育施設を利用して、様々なスポーツ大会や各カテゴリーの大会を誘致し、誰もが身近にスポーツと接する機会を増やす。</li> <li>○今年度もオリンピックデーランを開催し、定住圏域住民を含め広く誰もが参加できるスポーツイベントとして開催する。</li> </ul>  |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課     |
|---|------|------|------|------|---------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |         |
| <p>○ボランティアと趣向を凝らして開催した毎週月曜日、未就学児対象の「おはなし会」や毎月第3水曜日に開催した「赤ちゃんおはなし会」は、コロナ対策で人数制限を行っての開催となったが、好評で、特に「赤ちゃんおはなし会」については、保護者のニーズも確認しながら、2部制にして開催回数を倍に増やすなど乳幼児の読書活動の推進に努めた。</p> <p>○春のこども読書週間はコロナの影響により、夏に繰り下げての開催となった。春・秋ともにこども読書週間では、各館で取り組みを行い、子どもたちの読書活動推進が図れた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○新中津市学校、村上記念童心館、歴史博物館（なかはく）など文化施設と連携し、文化エリアとして施設の特性を活かした中で読書推進を図る。</p> <p>○ボランティア、学校司書との連携・情報共有を行い、ニーズ、地域特性に応じたイベント等を実施し、読書活動の推進を図る。</p> | 4    | A    | 3    | B    | 小幡記念図書館 |
| <p>○コロナ禍の状況で、気軽にスポーツを楽しむスポーツイベント等は軒並み中止となった。</p> <p>（令和元年度実施事業：八面山平和マラソン参加者数 536 人、オリンピックデーラン中津大会参加者数 966 人、諭吉の里「なかつ」ハーフマラソン・ウォーキング大会参加者数 961 人、市民講座参加者数 700 人）</p> <p>○施設閉鎖など、スポーツを行う環境には大きな変化があったが、その中でも徐々にではあるが、施設利用基準や大会の開催基準を作成し、スポーツを行える環境の確保を行った。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○コロナ禍が続く状況ではあるが、感染対策を講じ、様々なスポーツイベントを開催し、スポーツに触れ合える機会を増やす。</p>   | 4    | B    | 3    | B    | 体育・給食課  |

| No | 分類 |   |                                | 目 標  |
|----|----|---|--------------------------------|--|
|    | 大  | 中 | 小                              |  |
| 17 | 3  | K | 競技力向上及びジュニアの育成                 | <p>市体育協会や競技団体、学校、地域、企業などが連携し、人材の育成・強化に努める。</p> <p>○競技力の向上及び優秀な選手やジュニアの育成のために、優れた指導者の確保や育成が必要であり、全ての競技団指導者に指導者資格の取得を支援・推進していく。</p>  |
| 18 | 3  | K | 市民ニーズに応えるスポーツ施設の整備や多機能多目的な施設利用 | <p>市民のスポーツニーズに対応した施設の整備を行うことで、施設利用満足度を高め、多機能多目的な施設利用に柔軟に対応し、利便性の向上を図る。</p> <p>○誰もが、どこでも、安全に、安心してスポーツに親しむことのできる環境づくりを計画して行く。</p> <p>○市民要望の高い種目や競技に対応する施設整備及び、多機能多目的な施設利用対してのルール作り等を行っていく。</p> |

| 達成状況   | R1   |      | R2   |      | 所管課    |
|--|------|------|------|------|--------|
|  | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |        |
| <p>○今年度から指導者資格制度が変更したことに伴い、既存資格取得者に対し新設された資格への移行を指導した。</p> <p>○コロナ禍の状況で、中津市開催の新規資格取得対象の研修会は中止となったが、県独自研修会は実施されたので、対象指導者への参加を促した。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○競技団体へは指導者資格の取得推進やスポーツ少年団への加入を推進していく。また、指導者や保護者、関係者向けの指導に関する講習会を定期的実施し、研修の場を設ける。</p>   | 4    | B    | 3    | B    | 体育・給食課 |
| <p>○コロナ禍の状況で、安心安全に施設利用できるよう、コロナ感染症対策に基づいた施設利用ルールの設定や施設予約システムの構築を行った。また、利用の多いダイハツ九州アリーナや中津体育センターには自動検温システムを導入し、感染対策を図った。</p> <p>○利用者のニーズを踏まえ、施設の利便性向上のための改修や修繕を実施した。(三光総合運動公園人工芝テニスコートの改修等。)</p> <p>○中津体育センタートレーニング室にコロナ感染症及び熱中症対策として、空調設備を整備した。</p> <p>○アクアパークにウェイクボード専用艇を新規に購入し、ウェイクボードやウェイクサーフィンの利用が行えるようになった。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○コロナ禍の状況でも誰もが、どこでも、安全に、安心してスポーツに親しむことのできる環境づくりを行っていく。</p> <p>○市民のスポーツニーズに沿った市の振興に繋がるような施設にすべく整備を行なっていく。また、将来の財政負担や利用見込み等総合的要素を勘案した施設となるよう検討していく。</p> | 4    | B    | 4    | B    | 体育・給食課 |

| No | 分類 |   |                                   | 目 標   |
|----|----|---|-----------------------------------|---|
|    | 大  | 中 | 小                                 |   |
| 19 | 3  | K | 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動 | <p>覚書を締結した内容を基にパラバドミントン、パラ陸上、アーチェリーの事前キャンプ誘致を進めて行く。また、市民の機運醸成のためのイベントを行う。</p> <p>○東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致として、覚書を締結した内容を基に誘致を進める。</p> <p>○周知活動、イベント等を積極的に行い、誘致活動に対して市全体が盛り上がるような機運の醸成を図る。</p>              |
| 20 | 3  | L | 文化施設の充実                           | <p>市民生活の質を高め、楽しめる文化的環境づくりを推進する。また、文化芸術活動の場としての施設の整備・充実に努める。</p> <p>○子どもから高齢者まで全ての市民が、鑑賞や自らの発表の場として文化施設を活用できるよう、施設の充実、利用機会の拡充に努める。</p> <p>○建設後 40 年が経過している中津文化会館について、市民が安全にかつ快適に施設を利用できるよう、老朽箇所等について必要な改修等を行う。</p> |



| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課    |
|---|------|------|------|------|--------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |        |
| <p>○東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運醸成イベントとして、令和2年12月にオリンピック聖火展示事業を実施し、大会に向けての機運醸成が図ることができた。</p> <p>○東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致については、覚書を締結した国立スポーツ評議会と連絡を取り合い、コロナ禍の状況ではあるが、事前キャンプの調整を進めた。引き続き調整を進めていく。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致として、覚書を締結した内容を基に誘致を進めて行く。また、オリンピックキャンプ誘致アドバイザーである薬師寺氏（元JOC理事）を通じ、マレーシア国立スポーツ評議会及び、日本オリンピック委員会、日本マレーシア協会などに働きかけを行っていく。（令和3年7月6日、マレーシアよりコロナ禍の状況を勘案し、オリンピック・パラリンピックの中津市でのキャンプ中止の書簡が届く。）</p> <p>○オリンピックの機運醸成イベントとして、中津市本耶馬溪地区にて聖火リレーが4月23日に予定されている。</p> | 4    | B    | 3    | C    | 体育・給食課 |
| <p>○中津文化会館については大ホール舞台照明調光設備改修工事、空調設備工事、その他必要な設備修繕を行い、幅広い年齢層の利用者が快適に使用できるよう整備に努めた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○安心して文化芸術を楽しむために設備の充実や安全性は重要な要素となる。老朽化する施設の安全性を維持するために、整備の必要性や優先度を十分に検討し計画的に対応していく。</p>  | 4    | B    | 4    | B    | 社会教育課  |

| No | 分類 |   |               | 目 標  |
|----|----|---|---------------|--|
|    | 大  | 中 | 小             |  |
| 21 | 3  | L | 文化芸術活動の推進     | <p>国民文化祭で醸成した文化振興への機運を活かしながら、市民ニーズを反映した文化芸術の取り組みを行うとともに、文化芸術団体との連携を強化する。</p> <p>各施設においては、多様な文化・芸術活動を展開しているが、より多くの市民が、質の高い芸術文化に親しむ場、また自らの活動の発表の場としても利用いただけるよう、情報の発信と活動の充実を図る。</p> <p>○文化会館、リル・ドリームについては、昨年度と同様に指定管理者に「市民ニーズの把握とイベントの検証による事業の発展」、「収益率と使用率の向上」、「職員の育成、組織力強化」、「安心・元気・未来プラン 2017 の推進」を条件にしており、協力して取り組む。</p> <p>○木村記念美術館については、これまでの取り組みを継続するとともに、中津市歴史博物館と連携し合同企画展等を実施するなど、事業のさらなる充実強化を図る。</p> <p>○市報やホームページ等、あらゆる媒体を使用して、中津市の文化・芸術活動の情報発信を行う。</p> |
| 22 | 3  | M | 博物館を核とした活動の充実 | <p>資料収集と適切な保存、歴史文化と親しむ場としての機能充実を図り、各館の魅力アップを目指す。</p> <p>○資料の収集と保管、データベース化の推進。</p> <p>○中津市歴史博物館における年間を通じた企画展の開催。</p> <p>○学校教育との連携強化。</p> <p>○文化財に親しむ機会の創出。</p> <p>○耶馬溪風物館の日本遺産ガイドランスセンター化の推進。</p>   |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|---|------|------|------|------|-------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○中津文化会館においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大半のイベントは中止を余儀なくされ、会館利用料収入の収益率の向上は図ることができなかったが、アルゲリッチ音楽祭を誘致し、感染症対策を徹底した中で無料コンサートを開催し、多くの市民から好評を得ることができた。</p> <p>○木村記念美術館では、歴史博物館や図書館と合同で企画展「ART! ART! ART!」を開催し、国宝の日本絵画の展示から若手アーティストによるイベント、光のアートの展示などを実施し美術館事業の充実を実現できた。</p> <p>○市報・HP・ツイッターに加え、大分合同新聞での全面広告の効果により、市内だけでなく市外からの誘客につなげた。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○文化芸術団体等との連携を深め、感染症拡大防止と文化芸術の振興を両立しながら事業活動を進めていく。</p> <p>○木村記念美術館については、ひきつづき国民文化祭レガシー事業としての取り組みの内容を充実させ、歴史博物館や図書館をはじめとした各文教施設や観光施設との連携を図り、芸術文化による地域振興を図る。</p>  | 4    | B    | 4    | B    | 社会教育課 |
| <p>○収蔵施設を整えたことで、資料の寄託・寄贈が増加した。</p> <p>○学芸員は保存管理の研修会や勉強会に積極的に参加しており、国より初めて重要文化財を展示する許可をいただくことができた。</p> <p>○文化財のデータベースを蓄積し、報告書についても国や大学の機関を活用してデジタルデータで公開を進めている。</p> <p>○コロナ禍による臨時休館もあったが、展示は当初計画の7回を上回る14回開催し、常設展示エリアを全て入れ替える大掛かりな展示も1度の予定が2度開催することができた。特に、「発掘された日本列島展」では他県会場と比べても大変多くの来館者を記録した。福澤記念館とコラボした企画展を開催し、当初予定にはなかった「古代マーケット」「マルシェ」など民間連携の企画も行った。また、風物館は日本遺産を学べるスペースが完成した。</p> <p>○学校連携では、令和2年度からの試みとして、旧下毛地域等の遠方の学校やコロナ禍で郊外活動が制限される中、学校へ学芸員が出向く出前授業を開始した。</p> <p>○大江・村上・風物館はコロナ禍による来館者数の減少を食い止めることができなかった。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○なかはくは、城下町観光の拠点という役割を担っているため、観光部局と連携して、中津市の魅力発信を効果的に行う必要がある。</p> <p>○博物館に親しむ人たちをさらに増やしていくために、博物館の企画運営に市民がかかわる形をつくっていくことが望まれる。</p> <p>○なかはくだけでなく、各館の魅力アップにもつとめる必要がある。</p> | 5    | A    | 4    | A    | 社会教育課 |

| No | 分類 |   |            | 目 標   |
|----|----|---|------------|---|
|    | 大  | 中 | 小          |   |
| 23 | 3  | M | 文化財保護体制の確立 | <p>有形・無形文化財の調査・実態把握につとめ、市内文化財の保存活用に関する計画策定を進める。また、有形無形の文化財を維持管理し伝える市民活動への支援を行う。</p> <p>○文化財の調査・研究を行い、委員会の意見をふまえ保護措置について検討する。</p> <p>○新指定を目指すもの、指定の格上げを行うものについて検討し、指定の準備、申請を行う。</p> <p>○日本遺産事業を通して、文化財の活用に関わる市民活動の支援を行なう。</p> <p>○今年度大分県が策定する「文化財保存活用大綱」に沿って中津市の「文化財保存活用地域計画」の策定に着手する。</p> |
| 24 | 3  | M | 文化財の保存・活用  | <p>文化財の収蔵環境を改善するための検討・措置を行い、史跡や建造物の保存整備を進めるとともに、価値の周知に努める。また、郷土の偉人に関わる資料の調査研究と保存、価値の周知にも努める。</p> <p>○埋蔵文化財や民具の適切な収蔵環境について検討する。</p> <p>○国史跡長者屋敷官衙遺跡、県史跡相原廃寺、平田城跡、薦神社神門の整備を適切に実行し、必要なものについては経過を公開する。</p>  |

| 達成状況  | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|---|------|------|------|------|-------|
|   | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○指定文化財候補の調査を行い、令和3年度に新しく市指定・県指定に申請する資料を整えた。</p> <p>○「中近世城館調査」をはじめ、各種調査を予定通り行い、さらに羅漢寺の保存管理計画策定に着手した。</p> <p>○コロナ禍で祭りが中止になる中、中津祇園や鶴市笠鉾の山車の展示、豊前神楽の上演、湯立て道具の再現、九州民俗芸能大会での松前音頭・北原人形芝居の上演など、無形民俗文化財伝承の機会を設けることができた。</p> <p>○日本遺産事業では、耶馬溪全体を博覧会場に見立てた「やばはく」開催にこぎつけ、市民自らが企画し稼ぐ仕組みづくりを行うことができた。</p> <p>○地域計画は、基にすべき大分県の大綱完成がずれ込んだため、中身の着手まではいかなかったが、他地域の事例を参考に学習し、学識経験者の委員の選定を行い、補助金をうけるための資料を作成した。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○高齢化・過疎化が進み、文化財保護の環境はより厳しくなっている。文化財の調査研究を積極的に継続するのは必須であり、さらに地域の宝を未来へ伝えていくために、「文化財保存活用地域計画」の策定を、市民を巻き込みながらすすめる必要がある。</p> | 4    | B    | 4    | B    | 社会教育課 |
| <p>○市内各所に分散している埋蔵文化財や民具の収蔵環境を整理し集約するための調査を行った。</p> <p>○長者屋敷官衙遺跡と沖代条里の土水路などの整備事業は計画通り実施し、薦神社神門は修理委員会を立ち上げ、予定通り事業開始した。</p> <p>○神尾家と福澤旧居の屋根の茅が一部崩落する緊急案件が発生したが、それぞれ国や県と協議し、今後の整備方法の検討をし、方針を出した。神尾家については、令和3年度から3年計画で整備する計画を立て、補助金申請の準備を行った。</p> <p>○郷土の偉人に関わる調査研究では、慶応義塾大学の先生のご指導を仰ぎながら、渡辺重名をはじめとした中津藩国学者の渡辺家の資料調査や小幡篤次郎著作集刊行に取り組んだ。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○長者屋敷官衙遺跡は、Ⅰ期工事終了年度が近づいており、Ⅱ期工事の方針を立てなければいけない時期にきている。</p> <p>○薦神社修理工事だけでなく、福澤旧居や神尾家の修理にも取り組む必要が生じており、適切な事業の推進が求められる。</p> <p>○調査・整備の事業は機会をつくり情報公開を行うことで、市民に成果を還元するよう取り組む必要がある。</p>    | 4    | B    | 4    | B    | 社会教育課 |

| No | 分類 |   |            | 目 標  |
|----|----|---|------------|--|
|    | 大  | 中 | 小          |  |
| 25 | 4  | N | 教育委員会の機能強化 | <p>総合教育会議等を通じて市長と教育委員会が緊密な連携をとり、両者が教育行政の方向性を共有し、より一層地域住民の意向を反映した教育行政の推進を図っており、引き続き市長部局との連携強化を行う。また、教育現場の実態把握と関係機関との意見交換、教育委員の視察、研修機会の拡充を図る。</p> <p>○総合教育会議などの市長と教育委員会が連携を図れる会議等を開催する。</p> <p>○学校現場を訪問するなどして、県等関係機関と教育行政についての意見交換を行う。</p> <p>○先進地視察など教育委員の研修機会の拡充に努め教育行政について研鑽を重ねる。</p> |

| 達成状況   | R1   |      | R2   |      | 所管課   |
|--|------|------|------|------|-------|
|  | 自己評価 | 総合評価 | 自己評価 | 総合評価 |       |
| <p>○総合教育会議を年1回開催（令和3年2月8日開催）し、協議・調整を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響で各行事等が中止または縮小されている中、県教委の学校訪問に同行し、各学校の状況把握及び意見交換等を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急対応においても、臨時の教育委員会を開催するなど情報共有に努め、必要な感染防止対策を講じ、迅速な対応を行った。</p> <p><b>課題及び来年度に向けての方向性</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、教育を取り巻く環境や教育現場の状況も変化している中、多様化する課題を的確に把握し、迅速に対応するため、学校訪問や教職員との懇談会等に各委員が積極的に参加・出席し、現場の声に耳を傾け、現状や課題の認識を行う。その課題事項をもって、市長との総合教育会議を通じて、市長部局との連携強化を行い、課題解決に向けた教育行政を推進していく。また、総合教育会議の開催時期や形骸化とならないよう、相互からの問題提起ができるように、引き続き市長部局と密な連携・協議が必要である。</p> | 4    | B    | 4    | B    | 教育総務課 |

まず、報告書から読み取れる限りにおいて、各施策の達成状況についての所見を述べます。

#### 1. 学びたい教育のまちづくり（学校教育）

##### (A) 学校教育の充実（義務教育の充実）

###### ・ 確かな学力の育成

新型コロナウイルス感染症の影響のため、全国学力・学習状況調査が実施されず、大分県学力定着状況調査も悉皆ではなく各校ごとの対応となる中、貴重なデータを提供しているのが中津市標準学力調査です。この結果を見ると、昨年とは異なる集団を対象としているため単純な比較はできないものの、中学校では5教科すべてにおいて低学力生徒の割合が減少しており、授業改善が進んでいることを窺わせます。しかし、小学校の特に国語では、低学力児童の割合の明確な増加が見られ、この点が課題です。年度当初に登校できない期間があったことの影響も考えられますが、小学生の国語の力は、すべての教科等の力の基礎となるものであり、小中連携した授業改善の取組等による学力向上が望まれます。

###### ・ 組織的ないじめ・不登校対策の推進

いじめの認知件数の増減には一喜一憂すべきではありませんが、小学校、中学校ともに減少傾向が認められ、学校の組織的な対応の成果が窺われます。また、報告書が指摘する通り、不登校の要因は複雑化、多様化してきており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど心理や福祉の専門家との連携を進めていることは評価できます。今後は、学校と専門家や専門機関が一对一でつながるだけでなく、専門家や専門機関どうしの連携の強化を含めた取組の充実が期待されます。

##### (B) 学校教育の充実（小・中・高・短期大学との連携促進）

###### ・ 新しい時代に必要な総合力の育成

新型コロナウイルス感染症の影響による英検塾と英検受験の中止、ジュニア・グローバル・リーダー研修、APU交流、中学生英会話教室の中止に見られるように、目標達成のための各種取組を実施できなかったのは、関係者には残念なことであったと推察します。しかし、そのような状況の中でも、ALTによる英語ニュースの発行、英会話動画等の配信、そして、小学校教職員対象のティーチャーズオンライン英会話教室の開催は、貴重な学習機会の提供の努力として評価できます。特に、オンラインで実施した小学校教職員対象の英会話教室が高評価であったことから、今後はICT機器を活用した取組の充実も期待されます。



### (C) 学校教育の充実（幼児教育の充実）

#### ・幼稚園教育内容の充実

新型コロナウイルス感染症の影響により研修等が中止になる中、第2回中津市保幼小連携協議会を2回に分けて短時間で開催し、園児や小学校1年生の様子の情報交換やグループ協議を行い、実際に、小1プロブレムの発生状況を目標値の5%以下である2.4%に抑えていることは、保幼小の連携と円滑な接続という観点から評価できます。

### (D) 安心安全な学校施設の計画的整備促進

#### ・安心安全な学校施設の計画的整備

学校施設の長寿命化改修、大規模改修、トイレ洋式化改修等について、概ね計画通りの施設改修が実施されています。また、学校内のカーペットのビニルシートへの張替え、手洗い場の増設、蛇口のレバー式への改修は、的確な新型コロナウイルス感染対策として評価できます。

### (E) 学校給食の充実

#### ・地産地消の推進

はものすり身やべたの一夜干し、スイスチャード等の中津市産の食材を給食に取り入れるなど、積極的に地産地消の推進に取り組んでいる様子が窺えます。今後は、地産地消の学校給食を通して児童生徒が生産者や郷土への関心を持つことのできるような具体的取組が期待されます。

## 2. 学びたい教育のまちづくり（生涯学習・産業教育の推進）

### (F) 生涯学習の推進

#### ・生涯学習推進基盤の整備及び公民館、コミュニティーセンターの利用促進

新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館、コミュニティーセンターの利用者数が大幅に減少したり、祭りを中止したりしたことは、やむを得ない措置であったと思われます。感染症の収束後、各種活動の再開と、新しく開館した和田コミュニティーセンターの活用が期待されます。

#### ・学習機会の拡充と学習効果の活用（ふるさと学習の推進）

各種活動の中止や自粛が広がる中でも実施することができた福沢諭吉記念事業、子ども中津検定、ワンパク！たんけん中津等の「ふるさと学習」は、子どもの学習機会拡充のための優れた取組とすることができます。

#### ・新中津市学校の活用

高校生向け講座は中止されたものの、慶應義塾より講師を招聘した市民講座を実施したこと、特に、小幡篤次郎関係資料、渡辺家資料の整理により貴重な資料を発見し、その成果を展示の形で市民に還元したことは、郷土資料の地道な発掘と成果の公開という観点から高く評価できます。

## (G) 教育の協働

### ・ 学校、家庭、地域の協働による子育ての推進

新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた活動が思うように実施できなかった様子が窺えます。感染の収束後、各種活動の再開と、学校、家庭、地域の協働の観点から、コミュニティ・スクールを推進するための社会的体制の整備が期待されます。

## (H) 生涯学習センター「まなびん館」

### ・ 生涯学習センター事業の充実

新型コロナウイルス感染症の影響による生涯学習センターの利用者や受講者の減少、一時的な施設の閉鎖、大学祭などの行事の中止は、やむを得ない措置であり結果であったと思われます。感染収束後の各種活動の再開が期待されます。

## (I) 産業教育の推進

### ・ キャリア教育の充実

新型コロナウイルス感染症の影響により、小学生の工場見学や、中学生の職場訪問・職場体験が中止となったことは、学校にとっては貴重なキャリア教育の機会を失うことであり、残念なことであったと思われます。しかし、そのような状況の中でも、リモート工場見学を実施したり、「中学生のハローワーク」等の資料を活用して職業調べなどの学習を実施したりしたことは、学校として当然のこととは言え、児童生徒がキャリアについて学ぶ機会を保障する取組として評価できます。

### ・ 多様な体験の場の活用

職人フェスティバルの中止、少年少女発明クラブの発明のための活動の停止は、やむを得ない措置であったと思われます。感染収束後の活動再開が期待されます。

## (J) 図書館の充実

### ・ 図書館機能の充実

新型コロナウイルス感染防止のための休館期間があったこともあり、図書館利用者数も貸出冊数も減少する中で、感染防止対策を講じた上での各種イベントを開催するなど、利用率や利便性の向上に向けた取組を継続していることは、評価できます。感染収束後、年齢等にかかわらず市民が集い、文化に親しむ場としての活動をさらに展開することが期待されます。

### ・ 読書活動の推進

人数制限をしつつも、未就学児対象の「おはなし会」や「赤ちゃんおはなし会」を開催するなど、保護者のニーズに応える乳幼児の読書活動等の推進に努めたことは評価できます。

### 3. 学びたい教育のまちづくり（文化・スポーツの推進）

#### （K）スポーツの振興

##### ・生涯スポーツの推進

新型コロナウイルス感染症の影響により各種のスポーツイベントを中止したことは、やむを得ない措置であったと思われま

##### ・競技力向上及びジュニアの育成

中津市開催の新規資格取得のための研修会中止は、やむを得ない措置であったと思われま

##### ・市民ニーズに応えるスポーツ施設の整備や多機能多目的な施設利用

感染防止対策に基づいた施設利用ルールの設定や施設予約システムの構築、自動検温システムの導入、施設の改修や修繕、空調設備の設置等は、感染防止対策を施した上での施設利用の促進、また、施設の着実な整備と充実という観点から評価できます。

##### ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動

予定していた事前キャンプ誘致を十分に実現できなかったことは、やむを得なかったと思われま

#### （L）文化・芸術活動の推進

##### ・文化施設の充実

中津文化会館の大ホール舞台照明調光設備の改修など、安全性や快適性を実現するための整備が行われています。

##### ・文化芸術活動の推進

新型コロナウイルス感染症の影響により、中津文化会館における大半のイベントを中止したことは、やむを得ない措置であったと思われま。そのような状況の中でも、アルゲリッチ音楽祭を誘致して感染症対策を施した上で無料コンサートを開催したこと、木村記念美術館で企画展を開催したことは、市民が文化に触れる機会の確保と充実という観点から評価できます。

#### （M）歴史と文化の伝承

##### ・資料館活動の充実

新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館があったものの、積極的に常設展、企画展を開催したことは評価できます。また、学芸員が研修等に参加することにより、国から初めて重要文化財を展示する許可を得たこと、そして、文化財のデータベースを構築し、その成果をデジタルデータで公開していることは、博物館機能の向上という観点から高く評価できます。学芸員の研修や文化財のデータベース化等は、市民の目に触れにくい活動ですが、博物館機能の向上にとってきわめて重要です。今後、いっそうの充実が期待されます。

- ・ 文化財保護体制の確立

文化財保護のための調査、資料の整備、管理計画の策定が着実に実施されています。中津祇園や鶴市笠鉾の山車の展示など、無形民俗文化財伝承の機会を設けていることも評価できます。

- ・ 文化財の保存・活用

文化財の保存・活用のための調査、整備、委員会活動が着実に実施されています。

#### 4. 学びたい教育のまちづくり（教育委員会活動の充実）

##### （N）教育委員会活動の充実

- ・ 教育委員会機能の強化

新型コロナウイルス感染症への対応として、臨時の教育委員会を開催して情報共有したり、必要な感染防止対策を講じたりするなど、迅速な対応が行われています。感染症の収束が容易に見通せない中、今後も粘り強く的確な対応が期待されます。

最後に、総合的な所見を述べます。令和2年度は、やはり、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けた一年間であったと言えます。特に、児童生徒を預かる学校においては、細心の注意を払った対応を迫られたことと推察します。そのような中でも、実際の体験の代替となり得るような各種資料やICT機器の活用によって、児童生徒の学びの機会を保障しようと努めたことは、学校の使命として当然のこととは言え、社会的に評価されるべきものと考えます。

また、新型コロナウイルス感染防止対策を施した上で、図書館、博物館、文化施設等の活動が部分的であれ展開されたことも、市民が文化に親しみ、文化を発展させる取組として評価できます。さらに、幸いにして新型コロナウイルス感染症の影響をあまり受けなかったと思われる、学芸員の研修や文化財のデータベース化等による博物館機能の向上も、この状況の中での貴重な収穫と言うことができます。

感染症の収束が容易には見通せない状況がしばらく続くと予想されますが、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた前向きで積極的な今後の取組が期待されます。

## IV おわりに


『中津市教育振興基本計画』においては、計画期間を通じて目指すべき教育の姿、基本構想として、次の目標を掲げています。

「安心づくり」「元気づくり」「未来づくり」を基本として


- ・ 自立する力を育て、社会で活躍できる人材の育成
- ・ いつでも どこでも 学べる環境づくり

これら目標の実現に向けては、さらに以下の（１）から（４）の４項目の達成を図らなければなりません。

- （１）義務教育修了までに、責任ある社会の一員として自立していくための基礎となる、知、徳、体、食にコミュニケーションを加えたバランスのとれた力を育てます。
- （２）学校、家庭及び地域住民その他の関係者が、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を図れる体制づくりを確立します。
- （３）誰もが生涯にわたり学ぶことができる環境を整備し、文化芸術活動やスポーツに親しむ機会を充実させます。
- （４）地域固有の文化・芸能の継承と保存整備に取り組みます。



自立する力



学習環境

令和２年度においては、４項目を施策別基本目標、２５項目を具体的な施策として取り組んできましたが、全体目標の達成に向けて効果的かつ着実に推進するためには、事業の点検とその結果のフィードバックが不可欠であり、今回の施策評価の過程においても、多くの課題が浮き彫りになりました。そのため、実施した施策について、計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）のPDCAサイクルにより適応性や目標達成度、有効性の観点から自己点検・評価を行い、これを市民に公表し、市民の意見等の把握・反映に努め、次年度以降の進行管理を行っていきます。

